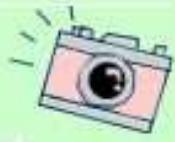


# ウオーク 探訪魅力 ～美原区コース～

## お願い

- 近隣住民や見学箇所の迷惑にならないよう静かに見学しましょう。
- ペットを連れての敷地内の見学は原則禁止です。
- 見学箇所のルールや見学時間等はお守りください。
- お寺や神社には見学不可の場所や時間もございます。  
注意書き等をよくお読みいただきますようお願いいたします。
- 路上駐車はしないでください。なるべく公共交通機関をご利用ください。

堺魅力探訪ウォーク  
美原区コース(前半)



緑が多く、農業基盤が充実し、  
歴史文化の豊かで落ち着いた街並み  
を歩いてみませんか？





緑が多く、農業基盤が充実し、  
歴史文化の豊かな落ち着いた  
街並みを歩いてみませんか？

堺魅力探訪ウォーク  
～美原区コース～  
(後半)

大阪府  
農芸高校

黒姫山古墳

丹比神社

スーパーアロー  
美原店

スーパー  
ピバホーム  
(美原南  
インター店)

ららぽーと堺

美原体育館

美原区役所

堺市立  
美原中学校

黒山警察署

大阪府立  
美原高校

船渡池

ラ・ムー堺美原店

業務スーパー  
堺美原店

# 堺魅力探訪ウォーク ～美原区～

緑が多く、農業基盤が充実し、歴史文化の豊かな街並みを歩いてみませんか。

スタート!

北野田駅

念照寺

菅生神社

舟渡池

丹比神社

黒姫山古墳

ゴール!

歩 10min (650m)

歩 33min (2.4Km)

歩 13min (950m)

歩 22min (1.6Km)

歩 9min (650m)

## 念照寺



### 念照寺

～江戸中期の真宗寺院の豪壮さを現代まで伝えている寺院～

住所：〒599-8123  
大阪府堺市東区北野田283  
電話：072-237-0708  
トイレ：あり / 駐車場：あり  
見学可能時間：AM9時～PM5時  
※住職が不在の場合は閉門している可能性があります。  
※本堂の見学を希望する場合は、住職へご確認をお願いいたします。

## 丹比神社



### 丹比神社

～樹齢千年を超えるご神木や五輪塔が見どころの由緒ある式内社～

住所：〒587-0012  
大阪府堺市美原区多治井157  
電話：072-361-0616  
トイレ：あり  
駐車場：2台のみ無料Pあり  
見学可能時間：  
参拝は終日可。  
受付時間はAM9時～PM6時

## 菅生神社



### 菅生神社

～堺市美原区に鎮座する式内社～

住所：〒587-0041  
大阪府堺市美原区菅生178-1  
電話：072-361-0323  
トイレ：あり  
駐車場：あり  
見学可能時間：終日

## 舟渡池



バードウォッチングも  
楽しめます!



### 舟渡池

～豊かな水と緑に囲まれバードウォッチングを楽しめる憩いの場～

住所：〒587-0003  
大阪府堺市美原区阿弥131-1  
電話：072-276-6818  
トイレ：あり  
駐車場：あり (AM9時～PM5時)  
※12/29～1/3は閉門

## 黒姫山古墳



### 黒姫山古墳

～百舌鳥・古市の二大古墳群との間に築かれた美原区内に残る唯一の古墳～

住所：〒587-0002  
大阪府堺市美原区黒山529  
トイレ：隣接するガイダンス施設にトイレあり  
駐車場：なし  
※近隣の「みはら歴史博物館」の駐車場をご利用ください。  
見学可能時間：終日  
※ガイダンス施設の開館時間はAM10時～PM4時  
※出土した資料等は、隣接するみはら歴史博物館に収蔵・展示されています。

## 念照寺



念照寺は、江戸中期の真宗寺院の豪壮さを現代まで伝えている寺院です。念照寺の創建は永享七年（1435）で、境内の「薬師堂」（現在の建物）は寛保元年（1741）年、「本堂」は寛延三年（1750）に建立されました。

「山門」は寛政五年（1793）に建立されたもので、これほど立派な山門は大阪府でもあまりないと言います。そのほか、境内には「太鼓楼」や「鐘楼」もあります。

念照寺一帯は、江戸中期の町なみの面影が残る古い民家が立ち並んでいます。

その中に、「大和棟建築」と呼ばれる民家があります。大和棟建築とは急な傾斜の茅葺き屋根が特徴で、大和・河内などに見られる建築様式のこと。このあたりは「野田木綿」の生産で知られており、この大和棟建築の民家こそ、元木綿問屋の家だったそうです。しかし昨今では、茅葺き屋根の維持が高額であることから、大和棟建築の家数は年々減少していると言います。



樹齢二百年を超える  
“カイヅカイブキ”



実際に屋根に用いられていた鬼瓦

念照寺には、樹齢二百年を超える“カイヅカイブキ”（堺市指定保存樹木）や、薬師堂横（道沿い）に赤い前掛けをした、北野田で最初のお地藏さんがあります。そのほか、実際に寺の屋根に用いられていた鬼瓦も展示されています。戦時中には“学童疎開”の場としても使われたという本堂も非常に厳かで見物です。※本堂見学は住職の許可が必要。

## 菅生神社



菅生神社正面の山門

菅生神社は平安時代に編纂された延喜式神名帳に記載のある式内社です。このことから平安中期には創建されたことが分かります。

主祭神として菅原道真公・天兒屋根命を祭っています。本殿左手には、菅原道真の出生の場所と伝えられている「菅澤」という沢があります。菅生天満宮とも呼ばれ、学問の神様です。

昔この地は沼地が多く、菅が一带に生えていたので菅生と言います。

本殿は一間社春日造で正面に軒唐破風をつけ、屋根は檜皮葺として学術的見地が認められ堺市指定有形文化財に指定されています。一間社春日造としては規模の大きいもので、正面柱間は7尺（2.1m）に及びます。擬宝珠の封印や琵琶板の墨書から万治四年（1661）に建立されたことが分かります。本殿内部は非公開です。



菅生神社拜殿 この奥に本殿がある

本殿の左側（西側）には「余部神社」「大歳神社」が鎮座。境内の左奥（北西側）から順に「琴平神社」「八幡神社」「御霊神社」があります。境内の右奥（北東側）には「恵比須神社」、右側（東側）には「元宮菅生明神社」「菅生稲荷神社」が鎮座しています。



一間社春日造の本殿

## 舟渡池(公園)

舟渡池は、堺市美原区にある舟渡池公園内にある池です。舟渡池は、昔この辺り一帯は湿地帯で、交通手段として舟を利用していた名残が由来として伝えられています。

右は「浮き<sup>さんぼし</sup>棧橋」で、野鳥観察を楽しむことができます。

利用時間は午前9時～午後5時で、池の水位が低い場合は利用できません。



舟渡池公園では一年を通じて、「シラサギ・アオサギ・マガモ・ハシビロガモ・キンクロハジロ・コガモ・ホシハジロ・ヒドリガモ・カルガモ」などの多くの野鳥が生息し、バードウォッチングを楽しむことができます。また、公園内では“クスノキ”や“シイ”などの木々や季節の花々を楽しむことができます。豊かな水と緑に囲まれ、遊歩道として整備された散策コースもあり、訪れる人々の安らぎの場となっています。

舟渡池公園の南側には一面に田んぼが広がっており、美原区の自然豊かな景色も堪能する事ができます。

園内には、健康運動としてウォーキングやラジオ体操をする人も多く見受けられ、活気あふれる場所となっています。

大阪みどりの百選にも選ばれた魅力あふれる舟渡池公園で、心休まるひと時を過ごしてみたいかでしょうか。



## 黒姫山古墳

野鳥を観察することができました！



黒姫山古墳は、百舌鳥・古市の二大古墳群との中間に位置する前方後円墳です。

大きさは、全長114m、後円部の径64m、高さ11m、前方部幅65m、高さ11.6mで、幅約13～18mの濠が墳丘の周りを囲んでいます。

この古墳は、古墳時代中期（5世紀中頃）に、美原の地域で勢力を持っていた丹比（たじひ）氏によって築かれたとも言われています。



昭和32年（1957年）に国の史跡に指定されました。前方部中央の竪穴式石室からは甲冑など大量の鉄製武具・武器が出土しました。出土した甲冑は隣接した「堺市立みはら歴史博物館（M・Cみはら）」に収蔵・展示されています。

史跡黒姫山古墳歴史の広場では、復元された竪穴式石室や前方部の埴輪列の等を見学することができます。



出土した埴輪の復元



竪穴式石室の復元



前方部の復元

# たんび 丹比神社

堺魅力探訪ウォーク ～美原区

## ご祭神とご神徳

丹比神社は延喜式内社で、ご祭神は

「ほあかりのみこと火明命」「みずはわけのみこと瑞齒別命」です。

延喜式とは、平安時代中期に編纂された格式で、三大格式の一つです。三大格式のうち、完全な形で残っているのは延喜式だけであり、大変重視されています。

創立年代は各説がありますが、飛鳥時代前後と言われています。丹比神社、丹比廃寺跡、黒姫山古墳を結ぶ一帯は丹比氏族の本拠地であったため、丹比神社は、彼らによって氏神として祭祀されました。

そんな丹比神社のご祭神であるほあかりのみこと火明命のご神徳は「火難除け、子孫繁栄、無病息災」です。「火の神様であって、火の中であって何の損なうところなく、生生躍動して日々新たなる生を産むものである」と信じられてきました。

今から1300年前、丹治比氏が「火難除け・子孫繁栄・無病息災」の火明命（ほあかりのみこと）の神徳を承けてたいへん繁栄し、皇室に忠勤を尽くしたことで、何度も位を授けられ、神宝幣帛を捧げられました。

（※神宝幣帛とは、神への敬意を表し奉獻するものの総称のこと）

## 長い参道

丹比神社は、戦前までは広大な神域を有していましたが戦争中に開発され、面影を失いました。丹比神社は現在でも、鳥居から本殿まで真直ぐに向かう長い参道が全国的にも珍しく、有名ですが、戦前はその参道が多治井の村落にまで至り、立派な松並木で覆われる姿は「陸の橋立」と讃えられていました。



## 産湯の井戸

境内には、第一八代反正天皇（多遲比瑞齒別＝たじひみずはわけ天皇）がご誕生の際に“産湯”を使われたという井戸があります。瑞井という井戸で多遲（タチ＝いたどり）の花がいっぱい咲いていたことから「多遲比」という別名ができ、多遲井と呼ばれ、後に「多治井」と読みやすく改まりました。このことから神社も現代風に「丹比神社」となったのです。

## 夜泣き石（五輪塔）

本殿北側にはまた、第一八代反正天皇の父である第一六代仁徳天皇の死去を悲しんで建立されたという「五輪塔（夜泣き石）」も残されています。そのため、仁徳天皇陵のある西側を向いています。この石を持ち帰り、漬物石に使用した際に、夜になると石が泣いたということから“夜泣き石”と呼ばれるようになりました。現在では、夜泣きのひどい赤ちゃんがお参りすると、夜泣きが良くなるという言い伝えがあります。



## 樹齢千年のご神木

また、本殿裏には樹齢千年を超すと言われる神木（くすのき）があります。また、北側入口には2本の神木が立っており、上の方で結ばれていることから「縁結びの樹」として親しまれています。

境内には他にも数本の神木があり、そのどれもが立派で、歴史を感じることができます。

